報道関係各位

2026年11月24日

News Release

KANKO カンコー学生服

【教員1,800人調査】物価高のなか、未来の学校制服に求める仕組みは「制服の回収・リサイクル」が最多、「公認アプリでのリユース」「サイズ可変機能」も3割超

調査レポート「カンコーホームルーム」Vol.250　環境教育とサステナブルな学校制服に関する調査
https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom/vol250

菅公学生服株式会社（本社：岡山市北区駅元町、代表取締役社長：尾﨑 茂　以下：カンコー学生服）は毎月最終火曜日に結果を発信している調査レポート「カンコーホームルーム 」Vol.250にて、「環境教育とサステナブルな学校制服に関する調査」の調査データを公開しました。

近年、持続可能な社会の実現に向けて、学校での環境教育（エコ学習・SDGs）の重要性が高まっています。また、物価高による家計への影響が懸念されるなか、子どもたちが毎日着用している学校制服は、丈夫で長く着られることに加え、リユースやリサイクル、成長に合わせたサイズ調整など、環境への配慮（エコ）と家庭の経済的負担の軽減（経済性）を両立できる身近な存在として注目されています。

では、サステナブルな学校制服について、学校はどのように考えているのでしょうか？今回は、全国の小学・中学・高校の教員1,800人を対象に、環境教育の実施状況や学校制服を活用したエコへの取り組みについて調査しました。

◆調査結果サマリー◆

●学校での環境教育の実施率は全体で約6割、小学校・中学校では6割を超える結果に
●約8割の教員が「学校制服を題材にした環境教育」に前向き、中学校では8割超と特に高い関心
●未来の学校制服に求める仕組みは「不要な制服の回収・再資源化（リサイクル）」が約5割で最多、次いで「学校公認アプリ等でのリユース」「サイズ可変機能」が3割超で上位に

◆まとめ・見解

世界的な原材料費やエネルギー価格の高騰に加え、異常気象や資源の枯渇といった環境問題の影響も重なり、物価高による家庭の経済的負担が増しています。こうした社会状況のもと、学校の環境教育では、児童・生徒が持続可能な社会を身近に感じ、実践につなげられる学びをどのように展開するかが課題となっています。

今回、全国の小学・中学・高校の教員1,800人を対象に調査したところ、学校での環境教育（エコ学習・SDGs）の実施状況は、「積極的に実施している」と「ある程度実施している」を合わせて全体の58．5%が実施していると回答しました。校種別では、「積極的に実施している」と「ある程度実施している」を合わせた割合は、小学校が63．8%、中学校が60．5%、高校が51．1%となり、小学・中学校を中心に6割以上の学校で環境教育が実践されている結果となりました。

続いて、学校制服を題材にした環境教育については、「非常によい（ぜひ実施したい）」と「よい（機会があれば実施したい）」を合わせると、肯定的な回答は全体の77．9%でした。特に中学校では84．0%にのぼり、身近な学校制服を題材にした環境教育への意向の高さがうかがえます。

さらに、家庭の経済的負担を減らし、環境にも優しい「未来の学校制服の仕組み」としてよいと思うものは、1位「卒業・サイズアウトした不要な制服の回収・再資源化（リサイクルシステム）」（48．2%）、2位「学校公認アプリ等での譲渡・売買（リユース）」（34．9%）、3位「成長に合わせて丈や袖を伸ばせるなど、長く着られる工夫（サイズ可変機能）」（34．6%）でした。中学校では「卒業・サイズアウトした不要な制服の回収・再資源化（リサイクルシステム）」（53．8%）は半数を超えて、「成長に合わせて丈や袖を伸ばせるなど、長く着られる工夫（サイズ可変機能）」（41．8%）への支持が特に高い結果となりました。

学校制服には、成長に合わせてサイズを調整して長く着たり、次の人に譲ったり、着なくなったものを回収して資源として活用したりと、身近に実践できる取り組みがいくつもあります。そして、環境に優しい選択が家庭の経済的負担の軽減にもつながると学ぶことは、子どもたちが日々の暮らしでできる行動を考えるきっかけになります。身近な一着を教材とした学びを通じて、学校制服を長く大切に使う取り組みが学校や家庭に広がっていくことが期待されます。

本件に関するお問い合わせ先　菅公学生服株式会社　広報・PR担当
岡本 一貴（おかもと かずき）　TEL：070-5424-4346　E-mail：kazuki.okamoto@kanko-gakuseifuku.co.jp
谷岡 美樹（たにおか みき）　TEL：080-1914-5219　E-mail：miki.tanioka@kanko-gakuseifuku.co.jp
TEL：086-898-2520　FAX：086-898-2510

◆調査結果

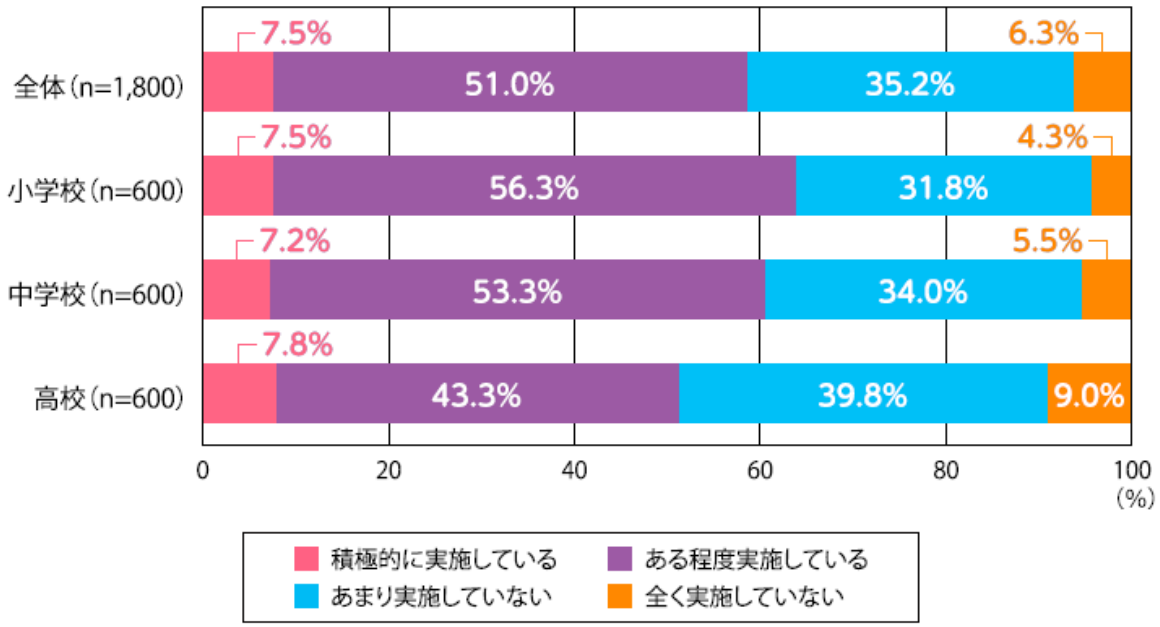
1.学校での環境教育の実施状況

●学校での環境教育の実施率は全体で6割弱、小学校・中学校では6割を超える結果に

学校で環境教育をどの程度実施しているか聞いたところ、全体では「積極的に実施している」(7.5%)と「ある程度実施している」(51.0%)を合わせて58.5%が実施していると回答しました。一方で、「あまり実施していない」(35.2%)と「全く実施していない」(6.3%)は計41.5%でした。

校種別では、「積極的に実施している」と「ある程度実施している」を合わせた割合は、小学校が63.8%、中学校が60.5%、高校が51.1%となり、勤務先の学校で環境教育を実施していると回答した教員の割合は、小学校と中学校で6割を超えていました。

Q.あなたがお勤めの学校では、環境教育(エコ学習・SDGs)をどの程度実施していますか。(単数回答)



※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

本件に関するお問い合わせ先　菅公学生服株式会社　広報・PR担当
岡本 一貴(おかもと かずき)　TEL:070-5424-4346　E-mail:kazuki.okamoto@kanko-gakuseifuku.co.jp
谷岡 美樹(たにおか みき)　TEL:080-1914-5219　E-mail:miki.tanioka@kanko-gakuseifuku.co.jp
TEL:086-898-2520　FAX:086-898-2510

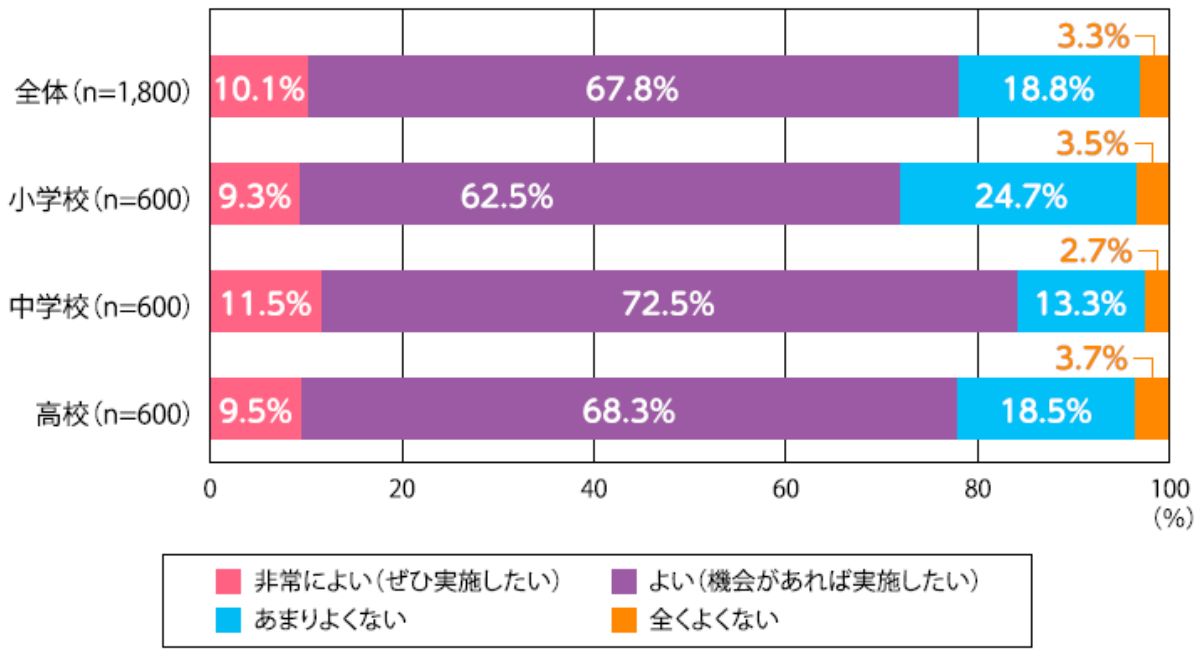
2.学校制服を題材にした環境教育の意向

●約8割の教員が「学校制服を題材にした環境教育」に前向き、中学校では8割超と特に高い関心

学校制服を題材にした環境教育については、全体では「非常によい（ぜひ実施したい）」（10．1%）と「よい（機会があれば実施したい）」（67．8%）を合わせて教員の77．9%が「よい」と回答しました。

校種別では、「非常によい（ぜひ実施したい）」と「よい（機会があれば実施したい）」を合わせた割合は、中学校が84．0%と最も高く、次いで高校が77．8%、小学校が71．8%となりました。特に「非常によい（ぜひ実施したい）」（小学校9．3%、中学校11．5%、高校9．5%）も中学校が最も高く、身近な学校制服を題材にした環境教育に前向きな回答が多くみられました。

Q.学校制服を題材にした、環境教育（エコ学習・SDGs）についてどう思いますか。（単数回答）



本件に関するお問い合わせ先　菅公学生服株式会社　広報・PR担当
岡本 一貴（おかもと かずき）　TEL：070-5424-4346　E-mail：kazuki.okamoto@kanko-gakuseifuku.co.jp
谷岡 美樹（たにおか みき）　TEL：080-1914-5219　E-mail：miki.tanioka@kanko-gakuseifuku.co.jp
TEL：086-898-2520　FAX：086-898-2510

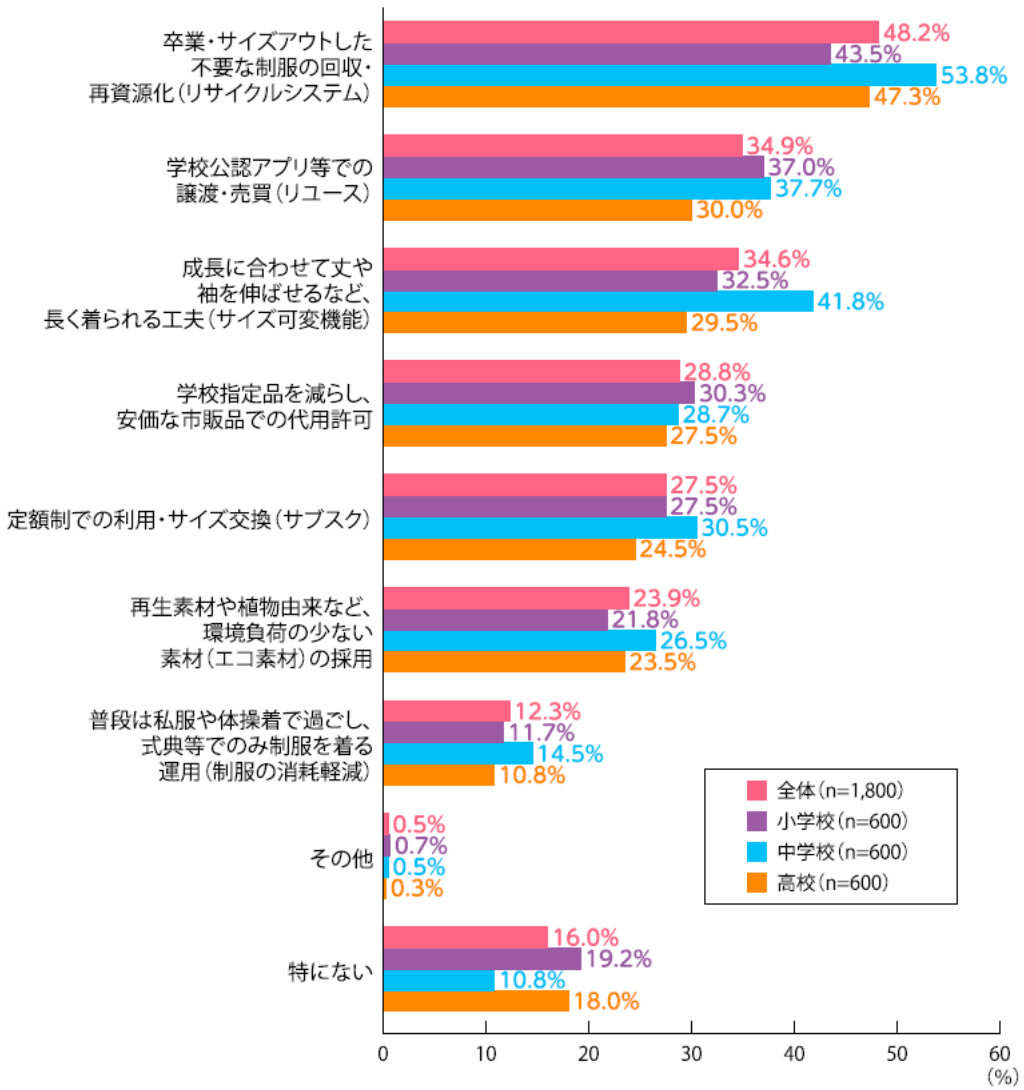
3.経済的かつ環境に優しい学校制服への意向

●未来の学校制服に求める仕組みは「不要な制服の回収・再資源化（リサイクル）」が約5割で最多、次いで「学校公認アプリ等でのリユース」「サイズ可変機能」が3割超で上位に

家庭の経済的負担を減らし、環境にも優しい「未来の学校制服の仕組み」としてよいと思うものは、全体では「卒業・サイズアウトした不要な制服の回収・再資源化（リサイクルシステム）」（48．2％）が最も多く、次に「学校公認アプリ等での譲渡・売買（リユース）」（34．9％）と「成長に合わせて丈や袖を伸ばせるなど、長く着られる工夫（サイズ可変機能）」（34．6％）が続きました。

校種別では、中学校で「卒業・サイズアウトした不要な制服の回収・再資源化（リサイクルシステム）」（53．8％）や「成長に合わせて丈や袖を伸ばせるなど、長く着られる工夫（サイズ可変機能）」（41．8％）が他の校種より高く、成長期にあたる中学生の体格変化に対応し、経済的負担の軽減と環境配慮を両立できる仕組みへの関心が目立ちました。

Q．家庭の経済的負担を減らし、環境にも優しい「未来の学校制服の仕組み」として、よいと思うものはどれですか。（複数回答）



本件に関するお問い合わせ先　菅公学生服株式会社　広報・PR担当
岡本 一貴（おかもと かずき）　TEL：070-5424-4346　E-mail：kazuki.okamoto@kanko-gakuseifuku.co.jp
谷岡 美樹（たにおか みき）　TEL：080-1914-5219　E-mail：miki.tanioka@kanko-gakuseifuku.co.jp
TEL：086-898-2520　FAX：086-898-2510

◆調査概要

・調査主体：菅公学生服株式会社
・調査対象：全国の小学・中学・高校の教員　1,800人
・サンプルサイズ：

小学校	中学校	高校	計
600	600	600	1,800

・調査方法：インターネットリサーチ
・実施時期：2026年6月
・調査委託先（調査実施）：楽天インサイト株式会社
※結果公開URL: https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom/vol250

【菅公学生服株式会社】
1854年（安政元年）創業。学校制服・体操服を通じて、子どもたちと学生生活を支えるすべての人々に寄り添い、さまざまな社会課題を解決するスクールソリューションカンパニーです。

【サステナブルな取り組み：制服リユースサービス「UNINOWA」】
「UNINOWA（ゆにのわ）」は、菅公学生服株式会社が運営する、同じ学校の保護者同士で制服を売買できるプラットフォームです。スマートフォンから簡単に出品・購入が可能で、従来のバザーや譲渡会に比べて、保管や開催準備の手間を省くことができます。
まだ使える制服を無駄にせず有効活用できるため、家計の助けになるとともに、環境にもやさしい循環型の取り組みです。対象校毎の登録制やプライバシーが守れる匿名対応など、安心・安全に配慮した設計で、制服を“次の持ち主”へつなぐ、新しいリユースの形です。
KANKO UNINOWA公式サイト：https://www.reuse.kanko-gakuseifuku.co.jp/

【カンコーホームルーム】
菅公学生服株式会社が、生徒を取り巻く環境や生徒の意識・ライフスタイルについて多角的に調査・分析し、毎月最終火曜日に、結果を発信している調査レポート。
テーマは、「中高生が着たい制服・体操服」、「部活動で身につく力」、「学校教育とSDGs」など多岐にわたる。
調査結果は、当社の事業エビデンスとしてだけでなく、広く一般に公開することで論文や教材、新聞・テレビ番組で引用転載されるなど、多方面でも活用されている。
発行日：毎月1回最終火曜日更新
公開方法：WEB　https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom
調査テーマの募集、ご意見・ご要望受付：https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/demand
引用・転載のお申込み：https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/quotation

以上

本件に関するお問い合わせ先　菅公学生服株式会社　広報・PR担当
岡本 一貴（おかもと かずき）　TEL：070-5424-4346　E-mail：kazuki.okamoto@kanko-gakuseifuku.co.jp
谷岡 美樹（たにおか みき）　TEL：080-1914-5219　E-mail：miki.tanioka@kanko-gakuseifuku.co.jp
TEL：086-898-2520　FAX：086-898-2510